

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	ロストステントの術後経過、偶発症の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 消化器内科 小林 陽介
研究実施体制	聖隷浜松病院 消化器内科 細田 佳佐、室久 剛、芳澤 社、木全 政晴、海野 修平、木次 健介、山田 洋介、井田 郁美、遠藤 茜、甲田 恵、志田 麻子、金谷 和哉、豊田 健介、杉谷 魁、高柳 利啓、森 孝平、荒井 祐人、高橋 嘉那太
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2030年3月
対象者	2010年1月から2026年3月までに聖隷浜松病院でロストステントを留置された患者さんもしくは偶発症を生じた患者さん
研究の意義・目的	胆道再建を伴った手術の際に、合併症予防のために胆管および膵管にロストステントを留置されることがあります。ステントは術後に自然に脱落されるように想定されていますが、術後の経過でステントによるトラブルが生じることがあります。当院でロストステントの術後動態、偶発症等に関して調査することで、ステント留置後に生じる問題点等に関し検討します。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 症例の年齢、性別、病名、手術内容、ステントの種類、術後経過、偶発症に関して。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 消化器内科 (氏名) 小林 陽介 TEL:053-474-2222(代表) 消化器内科外来 9:00~17:00 平日